

自然の家ジュニアクラブ

1. 事業の概要

◎事業の趣旨

自然体験活動や集団宿泊体験を通して、青少年の自主性、協調性、社会性を育む。

◎実施期間

令和元年6月1日（土）～2日（日）

◎対象者・参加者数（参加人数/応募人数）

対象者：小学3、4年生の児童（35名/166名）

※参加人数と定員人数は同数である。

◎活動プログラム

1日目（土曜日）	2日目（日曜日）
13：00 はりまや橋バスターミナル 発	7：15 朝のつどい
15：30 室戸青少年自然の家 着 開会式	7：30 朝食
16：00 流木クラフト	9：00 室戸青少年自然の家 発
17：30 タベのつどい	9：30 ドルフィンセンター 着 イルカとのふれあい体験
17：45 夕食	10：30 室戸市 発
18：30 レクリエーション	13：00 はりまや橋バスターミナル 着
19：40 入浴・就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

参加者は、自然の家に向かう車内でボランティアリーダーによるレクリエーションを楽しんだ。最初は緊張している参加者も見られたが、自然の家に着した時には、笑顔も見られるようになっていた。

開会式を経て、流木クラフトを行った。参加者は、班ごとに輪になり、夢中で流木を磨いていた。完成した流木キーホルダーは、1人1人色や形、触り心地が異なっていた。参加者は、お互いの作品を触り合う等をしていた。その後、夕食等を挟み、ボランティアリーダーによるレクリエーションが行われた。この活動の中で、班の仲間の名前を呼ぶ姿や協力してボランティアリーダーが考えた課題に挑戦する姿が見られた。参加者は、宿泊棟に戻ってからも、仲間やボランティアリーダーと今日の出来事を語り合う等、楽しい時間を過ごしていた。



< 2日目 >

2日目は、室戸ドルフィンセンターにて、イルカとのふれあい体験を行った。参加者は、普段あまり間近で見ることのないイルカにとっても喜んでいった。途中から始まったインストラクターによるイルカ健康チェックでは、「イルカの体温は何度だろう」等の様々なクイズに、参加者は興味津々の様子だった。そして、イルカのパフォーマンス練習の場面では、参加者は、イルカのジャンプ力や最高速度 60 キロで泳ぐ様子に驚き、歓声をあげていた。このイルカとのふれあい体験では、様々なイルカの様子を間近で観察し、イルカの生態を学ぶことができる貴重な体験となった。最後の活動として、班毎に2日間の活動をふりかえり、感じたことを仲間と共有した。



3. 事業の成果と課題

◎ 参加者の感想

- ・新しい友達ができたのでまた来たい。
- ・イルカのことなど知らないことを知れた。
- ・友達ができ、楽しく遊べました。
- ・流木クラフトが上手に作れてよかった。

◎ 事業の成果

○利用促進について

- ・昨年度の参加者を対象外にしたことで、初めて自然の家に来たという子供が複数名いた。

○事業運営について

- ・今年度より新たに活動班・生活班を設けて実施した結果、参加者の統率のとれスムーズに活動が行えた。
- ・活動班、生活班の健康チェック表を用いて事業運営を行ったため、参加者の健康管理ができ、また保護者への伝達も円滑に行うことができた。

○活動プログラムについて

- ・「イルカとのふれあい体験」はこの事業を契機に「イルカの観察」という自然の家の通常の活動プログラムとして実施している。

◎ 事業の課題

- ・本事業は、自然の家の知名度を高めることはできたものの、利用促進に直接つながる成果を得ることができていない。このことから、事業の実施方法や内容等について見直してまいりたい。